



会場には、国内47都道府県、海外5カ国を含め、約1100人の参加者が集まった

帆だった訳ではない。草創期の分裂騒動、言われなき冤罪の薬事法違反嫌疑など幾度となくピンチに見舞われたが、創業の理念である「食すなわち命なり」「玄米酵素の普及と正しい食生活（食事道）の啓蒙を通じて、真の健康という幸せを届けたい」という理念を一貫して提唱。愛食家は国内のみ

ならず国外にも増え続け、40年をかけて北海道発の全国ブランドへと成長した。そんな同社の40周年記念式典は、毎年恒例となっている「全国販売店研修会」と同時に開催。全国47都道府県および海外5カ国から約1100人が集結した。2日目に行われた研修会の開幕にあたり、岩崎氏は同社の歴史を振り返り「26歳で創業し、当初は1件ごと売り歩く日々。様々な苦難があったが、玄米酵素という素晴らしい食品を広めたい。そういう思いが神に通じ、多くの人々との出会いや縁に守られた40年だった」と挨拶した。

また、40周年を機に掲げた「創業40周年宣言」「玄米酵素人フィロソフィー」を発表。



基調講演を行った上甲晃氏

「玄米酵素人フィロソフィー」とは、大きく社会貢献すべく60万人愛食者達成に向けて本格的に活動をするという同社としての哲学を掲げたもの。「しかし感動と夢の挑戦」をテーマに、「し」は「社会貢献と生きがいのために」「か」は「家族の健康と幸せのために」「し」は「仕事を通じて自己の成長のために」「感動」は「感動と友情の共有のために」「夢の挑戦」は「夢の挑戦と実現で豊かな生活のために」としている。

この宣言は、「この5つを私たちのフィロソフィーとして、さらにそれぞれが

鹿内正孝新社長の新たな体制を発表

3日目は午前中に分科会などが行われた後、午後か

の日程を終えた。

個性を生かし、代理店、特約店一丸となり、60万人愛食者実現に向けて邁進することをここに宣言します」と結ばれている。

この後、松下政経塾初代塾頭で志ネットワーク「青年塾」代表の上甲晃氏が「志し高く生きる」と題して基調講演を開催。午後からは、小林博北海道大学名誉教授を座長に、田澤賢次富山医科薬科大学名誉教授、森秀樹岐阜大学学長、斉木育夫富山大学和漢医学総合研究所長、岡田太鳥取大学教授による「FBR A医学シンポジウム」も開催され、FBR A（玄米酵素）のエビデンス（科学的裏付け）について発表、2日目の日程を終えた。

たこれから10年間は、私の経営者としての最終章だと思っています。次の世代へこの活動を委ねていくこと

らはチベットの音楽家バイマヤンジン氏による記念講演などを開催。その後、創業40周年記念式典と記念パーティーが実施された。式典の冒頭、この日付けで会長に就任した岩崎会長から、鹿内正孝副社長の社長就任、道見重信専務の製造関連会社のコーケン社長就任など、新体制が発表された。「創業50周年に向けたこれから10年間は、私の経営者としての最終章だと思っています。次の世代へこの活動を委ねていくこと

シンポジウムでは有意義な意見交換がなされた



記念パーティーでのひとコマ。左から、鹿内正孝玄米酵素社長、高橋はるみ北海道知事、岩崎輝明玄米酵素会長、道見重信コーケン社長

創業40周年 玄米酵素 高邁な理想を掲げ、 50周年に邁進

新体制も発表

玄米酵素が創業40周年の記念式典を、第29回全国販売店研修会と合わせ、5月25日から4日間に渡りホテルロイトン札幌で開催。高橋はるみ北海道知事をはじめとする来賓と、参加者合わせて合計1160人が集まった。また、創業者の岩崎輝明氏が会長に、鹿内正孝副社長が社長に就任する新体制も合わせて発表された。

約1100人が国内外から参加

玄米酵素は1971年10月に創業。高度成長期の食生活の乱れから健康危機を予見した創業者の岩崎輝明氏が、酵素研究家岡田悦次氏と共に玄

米酵素の製造・販売を開始したのがスタートだ。その翌年には事務所を札幌市北区麻生に置き、社名を前身の「北海道酵素」に。77年に現社名に変更し、79年には札幌市北区北12西1に新社屋を完成させた。現在は札幌本社、東京支社の他、仙台市、大阪市、松山市、福岡市に営業所を開設。海外へも販売店を置き、強力なネットワークを築いている。しかし、ここまで順風満



「玄米酵素人フィロソフィー」を発表した岩崎会長

昭和二十九年三月三日第三種郵便物認可
平成十四年六月十五日発行 第五十巻 第七号 毎月十五日発行

情報を先取り、タブーに挑戦

財界さっぽろ

特集 百貨店、剣が峰、7月号

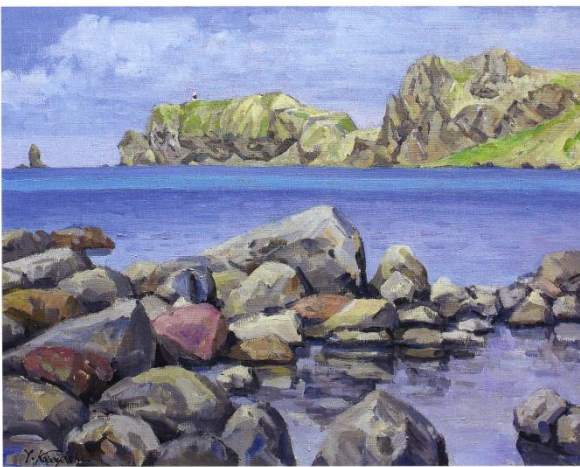
札幌丸井三越・大丸札幌・さっぽろ東急・池内・西武旭川・藤丸・棒二森屋の行き着く先は――

株価低迷で自社株買い 道銀、優先株式1億743万株の“重荷”、

二七香煙の殺人未遂事件 夕張カリスマ医師(村上智彦)と2人の関係、道新が口をつくむK-POPコンサート騒動 贈収賄公判で白日のもとに 室蘭市は“談合天国、だ!” ばんえい競馬トップ騎手がキレた“密室の祝勝会”

謎の死を遂げたサハリン州知事が 最も信頼していた日本人の衝撃告白!

北方領土、隠された真実






道見重信コーケン社長

鹿内正孝新社長

で、2000年、3000年と続けられるものになりたい」と語った。

挨拶に立った鹿内新社長は「私は昭和54(1979)年に北海道銀行に入行し、55年秋に北区麻生で岩崎社長と洋子夫人のふたりでやっていた当時の事務所に営業で通っていました。数年後にやっと開設していただいた口座番号は現在も同じ私が開いた番号です。以来

お取り引きをさせていただきましたが、79年に本社ビルが落成したときは本場にうれしかった。その後50歳のときに岩崎会長に誘っていただき、この仕事に。人生の中でいくつも縁があると思います。この縁は私にとって最大の縁です。宿願である愛食者60万人達成に向け、一生懸命に取り組みます」と力強く就任の抱負を語った。

また、道見コーケン社長は「岩崎会長と初めて会ったのは昭和49(1974)年2月に行われた青年会議所の会合でした。一番に思い出されるのは平成8(1996)年のホルモン混入疑惑の冤罪事件です。ホルモンの混入は全く事実無根であるという東京の検査機関の証明書を札幌で行われ





高向巖札幌商工会議所会頭

和田修一北海道経済産業局長

高橋はるみ北海道知事

る記者会見へ持つて帰るのが私の役目でした。帰路の途中、これがあれば会社や多くの仲間を助けられる、そんな思いで証明書を肌身離さず持っていたのを今でも覚えています。人間の幸福の基は健康です。『玄米酵素で国民を健康にしたい』という純粋で高邁な岩崎会長の理念があったからこそ今の玄米酵素がある。37年8カ月仕えている私をどんな時も支えてくれました」と語り、会場から盛大な拍手を送られていた。

続いて来賓として壇上に立った高向巖札幌商工会議所会頭は「岩崎会長は私の健康の先生であります。北海道の食を象徴する『安全、安心』を代表するのが玄米酵素。我々の仲間がよくどこまでやってくれました」と祝辞が述べられた。引き続き行われた「記念パーティー」では、高橋はるみ北海道知事が来賓挨拶。「食産業立国を目指す北海道をリードする企業です。先見性と志の高さに、お礼と敬意を表します」と話し、また和田修一北海道経済産業局長は「40年も前に健康食に着目し、エビデンスを重視している点も素晴らしいこと」と述べた。鏡開きが行われた後、乾杯の挨拶に立ったのは玄米酵素の愛食者の一人でもある北海道銀行の堰八義博頭取。「この会場は札幌でも最大の広さのホールですが、立すいの余地はありません。玄米酵素および関係者の方の絆の強さと勢いを感じました」と話し、乾杯の音頭をとると、威勢のいいかけ声が会場内に響き渡った。

祝宴は星野恭亮札幌商工会議所副会頭の中締めで滞りなく終了。玄米酵素は、創業40周年をステップに「国民を健康に」という高邁な理想を掲げ、50年へ向けて大きな一歩を踏み出した。

堰八義博北海道銀行頭取の音頭で乾杯